



**和いいね!**

いまの時代、自分からアピールしなきゃ!

福井市

平成31年配備の「拠点機能形成車」

## 5月 臨時会 (5月17日)

正・副議長などの各役職を選出しました

詳細は2ページ

市長提出の議案2件、報告9件を  
審議しました

主な議案は3ページ  
審議結果は10〜11ページ

## 6月 定例会 (6月6日〜6月23日)

市長提出の議案10件、報告14件を  
審議しました

主な議案は3ページ  
審議結果は10〜11ページ

請願3件、陳情2件を審議しました

審議結果は11ページ

委員会審査

詳細は3〜4ページ

議員23人が一般質問を行いました

詳細は5〜10ページ

## ↑3年ぶりの福井市総合防災訓練

コロナ禍で実施を見合わせていた福井市総合防災訓練が、6月26日(日)に市内各地区において実施されました。今年度は、日新地区を主会場に、文殊、岡保、宮ノ下の計4地区が推進地区となり、市内で最大震度7の地震が発生し、沿岸地区に津波警報が発令されたとの想定で訓練を行いました。  
(写真は日新地区の訓練の様子)

議会の構成

(敬称略)

◆堀江廣海 議長



堀江議長は市議当選4回で、この間、議長、議会運営委員会委員長のほか、教育民生委員会委員長などを歴任しています。  
【住所】  
福井市荒木新保町28-29

◆村田耕一 副議長



村田副議長は市議当選3回で、この間、経済企業委員会委員長、教育民生委員会委員長のほか、監査委員などを歴任しています。  
【住所】  
福井市御幸1-11-5

委員会名		委 員 名				◎委員長 ○副委員長
常任委員会	総務	◎寺島 恭也 藤田 諭	○中村 綾菜 八田 一以	加藤 貞信 福野 大輔	今村 辰和	村田 耕一
	建設	◎榊原 光賀 玉村 正人	○菅生 敬一 水島 秀晃	皆川 信正 近藤 貴	野嶋 祐記	鈴木 正樹
	教育民生	◎酒井 良樹 田中 義乃	○岩佐 武彦 泉 和弥	堀川 秀樹 伊藤 洋一	下畑 健二	堀江 廣海
	経済企業	◎津田 かおり 奥島 光晴	○池上 優徳 片矢 修一	見谷 喜代三 山田 文葉	石丸 浜夫	青木 幹雄
議会運営委員会		◎見谷 喜代三 藤田 諭	○堀川 秀樹 泉 和弥	青木 幹雄 水島 秀晃	下畑 健二 寺島 恭也	田中 義乃 酒井 良樹
特別委員会	福井の魅力発信対策	◎水島 秀晃 菅生 敬一	○堀川 秀樹 寺島 恭也	石丸 浜夫 榊原 光賀	鈴木 正樹	藤田 諭
	予算	◎福野 大輔 片矢 修一 菅生 敬一	○酒井 良樹 田中 義乃 水島 秀晃	見谷 喜代三 藤田 諭 津田 かおり	鈴木 正樹 泉 和弥 寺島 恭也	堀江 廣海 伊藤 洋一 榊原 光賀

議会選出の各役職一覧

監査委員	八田 一以 福野 大輔
福井坂井地区広域市町村圏事務組合 議会議員	堀江 廣海 村田 耕一 青木 幹雄 奥島 光晴 水島 秀晃
鯖江広域衛生施設組合議会議員	片矢 修一 藤田 諭 榊原 光賀
福井県後期高齢者医療広域連合議会議員	堀江 廣海 加藤 貞信 岩佐 武彦
土地開発公社理事	堀江 廣海 村田 耕一 菅生 敬一 福野 大輔 酒井 良樹
都市計画審議会委員	皆川 信正 寺島 恭也
社会福祉審議会民生委員審査専門分科会委員	見谷 喜代三
青少年問題協議会委員	伊藤 洋一
少年愛護センター運営委員会委員	村田 耕一 田中 義乃
社会教育委員	下畑 健二 八田 一以 山田 文葉
通学区域審議会委員	石丸 浜夫 鈴木 正樹 池上 優徳
学校給食運営委員会委員	堀川 秀樹 野嶋 祐記 津田 かおり

# 主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10〜11ページに掲載しています。

## 5月臨時会

### 人事案件

#### ○監査委員

監査委員の欠員を補充するため、八田一以氏と福野大輔氏を選任することに同意しました。

## 6月定例会

### 令和4年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で11億7,518万4千円を増額するなど、補正後の予算額は1,255億150万2千円となります。

また、補正後の全会計の予算額は、2,278億5,400万2千円となります。

#### ○一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対応等に関する事業として、小・中学校の老朽化した食器消毒保管庫の更新と、小・中学校の配膳室に空調設備の整備を行う『学校給食感染症対策事業』、原油価格・物価高騰によりコロナ禍からの経済活動回復の遅れが懸念されることから、福井市中小企業者等融資制度

に「福井市経営安定借換資金（新型コロナウイルス支援枠）」を新設し、借換え時の信用保証料を全額補給することで、据置期間の延長や月返済額の変更がしやすい環境を整備する『新型コロナウイルス対策経営安定借換支援事業』、原油等の価格高騰を要因とした電気代上昇を踏まえ、生活に困窮する世帯の光熱費を助成する『生活困窮者光熱費助成事業』、市民の公衆衛生の安定及び健康の増進を図るため、物価統制令により入浴料金が統制されている公衆浴場に対し燃料費を助成し、原油価格高騰による経営への影響を緩和する『公衆浴場燃料費助成事業』、食料価格が高騰する中においても、給食費の値上げをすることなく、これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食を提供するため、給食材料費を増額する『学校給食材料費高騰対策事業』、福井市内での宿泊を伴う観光需要を喚起し観光消費拡大につなげるため、宿泊料金の割引を実施し、観光事業者を支援するとともに、早期利用特典に福井市

産直ECサイト「ふくいさん」を活用することにより、農林漁業者支援につなげる『福井市宿泊割引「福いいネー！クーポン」事業』、県内外からの誘客に向けた宿泊事業者の取組を応援するため、宿泊者へのサービスや施設の魅力向上に要する費用を支援する『福井のがんばる宿泊事業者応援事業』、新型コロナウイルス感染症の影響により、団体旅行の回復が困難な中、個人型旅行による周遊観光を促進するため、市内の観光地を巡るスタンプラリーを実施し、特典に福井市産直ECサイト「ふくいさん」を活用することにより、農林漁業者の支援につなげる『福井を満喫！デジタルスタンプラリー』、教育用サーバ等ネットワークインフラの更新強化を行うとともに、強化したインフラを活用し、中学生を対象にAI教材を試験的に導入する『学校DX推進事業』などに、10億1,927万8千円を計上するものです。

また、各種施策を推進するための取組として、中央公園の旧順化公民館跡地に雨天時や真夏日にも利用できる屋根つきの遊び場整備に着手する『中央公園子ども遊び場整備事業』、HPVワクチンの積極的勧奨の差し控えにより、定期接種の機会を逃し、HPVワクチン接種を自費で受けた女性に対して、接種費用の助成を行う『HPVワクチン任意接種費用助成事業』などに、4,505万7千円を計上するものです。

また、その他として、県が実施する子育て世帯限定のふく割クーポン発行に関して、県と市で事務委託契約を締結し、対象世帯抽出等の必要な業務を行う『子育て世帯「ふく割」クーポン発行業務』、老朽化に伴い、運転に支障があることが判明したため、市庁舎本館の非常用発電機を更新する『市庁舎本館非常用発電機更新事業』、同じく健康管理センター「健康管理センター非常電源制御設備更新事業」などに、1億1,259万9千円を計上するものです。

### 条例

#### ○福井市民生委員定数条例の一部改正について

本年12月の民生委員の斉改選に合わせて定数の改正を行い、民生委員の適正な配置による地域の課題解決力の向上につなげるものです。

#### ○福井市営特定公共賃貸住宅管理条例等の一部改正について

近年の家族の多様化を踏まえ、里親に委託されている児童（以下「里子」という）等が特定優良賃貸住宅に入居することができるよう「特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律施行規則」が改正されたことに伴い、市が所管する特定公共賃貸住宅を含めた市営住宅について、里子等が入居することができるよう、条例の一部改正を行うものです。

## 委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。  
(※委員会終了順に掲載)

### 財政再建下での持続的市勢発展対策特別委員会



《福井市財政計画について》

**問** プライマリーバランスを考えると、歳出を削減するか歳入を増やすかのどちらかしかないが、歳出の削減は市民に負担を強いことになる。新

幹線開業という他の自治体にはないチャンスを生かすため、歳入を増やす方法について何か考えているのか。

**答** 経済を活性化しながら税収を上げていくのが根本的な考え方であり、農業者支援や観光業、中小企業などの下支えも税収対策となると考えている。税収を確保した上で、それに見合った歳出を決め、不用品が出た場合はその半分を積み立てるといのが基本的な考え方である。一方、新幹線福井開業は、経済発展の起爆剤になると考えており、他の自治体にはないチャンスを生かすため、しっかりと対応していきたい。

**問** 令和5年度以降は各種団体への補助金の10%削減を終了することだが、どのような基準で行うのか。

**答** 令和5年度での終了を予定しているが、福井市行政改革推進委員会内に設置した財政健全化専門部会では、委員から、各補助金の必要性を精査した上で対応を考えるべきとの意見をいただいていることから、団体の状況を確認しながら対応していきたい。

**要望** コロナが収束に向かい、各種団体の事業が再開されれば、市の活性化につながっていくと考える。これまで補助金

等のカットにより参加者が減少した団体もあることから、団体や市民のやる気を取り戻すためにも手厚い対応を考えてほしい。

※本委員会は6月6日の本会議において調査終了と決しました。

**総務委員会**



《市庁舎本館非常用発電機更新事業》

**問** 非常用発電機の点検はどれくらいの頻度で実施しているのか。

**答** 2か月に一度定期点検を実施し、正常に起動するかどうかの確認を行っている。

**問** 非常用発電機は設置から何年くらいが経過すると入替が必要になるのか。

**答** 点検業者からは通常30年程度で入れ替えることが推奨されていると聞いている。市庁舎本館用の非常用発電機は、建物竣工時に設置したものであり、既に45年以上が経過し、非常に老朽化が進んでいる状況である。

**問** 2か月に一度の点検を行っているとしても、設置から数十年が経過しており、今回、更新経費を補正予算に計上したということは、既に1、2年前から何らかの不調を来していたとの認識でよいのか。

**答** これまでも不調や不具合の報告を保守点検業者から受けていたが、今回初めてエンジンが起動しないという症状が出たため、このままでは災害時や停電時などの非常時に起動しないおそれがあることから、緊急的に補正予算を計上したものである。

**建設委員会**



《中央公園子ども遊び場整備事業》

**問** 全天候型の遊び場といいつつ、屋根で上部を覆うだけの形となると、冬場は非常に寒いのではないかと危惧する。設計段階で協議されていくとは思いますが、冬場も使えるような対策について何か考えはあるのか。

**答** 子どもたちが安心して遊べ、保護者が快適に見守ることができ環境が大事であると考えていることから、張り出しの屋根や垂れ壁、スクリーンなどにより雨や雪の吹き込みなどの影響を極力抑えられるような施設になるよう考えていく。

**問** 中央公園らしい、建築としてデザイン的に面白くて楽しい、魅力的なものを造ってほしいと思うが、現時点で何か構想はあるのか。

**答** まだ設計段階であり、どういったものになるのかは決まっていないが、屋根や遊具のデザインについては、都市景観審議会から選出されている建築や土木、色彩等の専門家で構成されたデザイン調整委員会で見解をいただきながら設計していく。

**要望** 専門家の意見もよいが、市民、県民に加え県外から来た人にも、来てよかった、また行きたいと思ってもらえるような魅力的な施設となるよう市としても十分に検討してほしい。

**経済企業委員会**



《福井を満喫！デジタルスタンプラリー》

**問** スタンプは市内のどこに何か所設置するのか。

**答** このスタンプラリーは夏版と秋版の2回に分けて開催したいと考えている。スタンプの設置場所は一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園、福井駅周辺に加え、夏版では主に越前海岸方面で10か所程度、秋版ではまちなかや季節を感じられるような場所を含めて10か所程度を選定していきたい。

**要望** できるだけ多くの方々に参加いただけるよう広報し、事業を通じて本市の観光地が皆さんの目に触れるように

してほしい。

**教育民生委員会**



《不妊治療支援事業》

**問** 対象者は市内に何人くらいいるのか。また、この事業は今後も継続して実施していく予定なのか。

**答** 本補正予算では、これまでの実績を基に対象者数を135件程度と見込んでいます。また、本事業は県の補助を受け、県下一律で実施されるものであり、県からは今後も継続して実施すると聞いている。

《修学旅行キャンセル料補助事業》

**問** 補助の対象は、小・中学校の修学旅行実施の現状は。

**答** 補助の対象は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、やむを得ず修学旅行を中止した場合に補助するものであり、行き先は県内、県外を問わない。既に実施済みの小学校は4校、中学校は22校で、現段階では感染等による中止はない。このうち、中学校では3分の2程度が主に北陸や中部地方といった県外を行き先に実施している。また、未実施校についてもほとんどが9月末から11月上旬にかけて実施を計画しているが、現段階で中止を決定している学校はない。

# 一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質すため、6月13日から15日までの3日間、23人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、( )内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

<p><b>① 寺島 恭也 (一真会)</b></p> <p>1 原油価格・物価高騰への本市の対応について 2 市税収入の確保について 3 本市管理の墓地について</p>
<p><b>② 野嶋 祐記 (新政会)</b></p> <p>1 公共工事における原油価格、物価高騰の影響と対応について 2 「ふくみちプロジェクト」について 3 小・中学校のDX推進について</p>
<p><b>③ 池上 優徳 (一真会)</b></p> <p>1 物価高騰による学校給食への影響と対策について 2 福井市中央卸売市場について</p>
<p><b>④ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</b></p> <p>1 西武福井店新館跡地に計画される共同住宅と商業施設(ラウンドワン)をにぎわい創出と税収を比較した場合の福井市が取るべき判断について 2 福井市空き家等対策計画について 3 戸建て住宅の空き家問題と並んで今後問題となってくるであろう共同住宅の空き家対策について 4 地域生活支援拠点のその後の取組について</p>
<p><b>⑤ 加藤 貞信 (新政会)</b></p> <p>1 福井市国土強靱化地域計画について 2 本市の認知症高齢者に対する取組について</p>
<p><b>⑥ 下畑 健二 (公明党)</b></p> <p>1 アリーナ構想について 2 福井市国土強靱化地域計画について 3 福井市のDX(デジタルトランスフォーメーション)の取組について</p>
<p><b>⑦ 皆川 信正 (一真会)</b></p> <p>1 アリーナ構想と新文化会館について 2 福井縦貫線の都市計画変更について 3 木田四ツ辻交差点の標示板設置について 4 福井空港の利用と航空会社による運航構想について 5 カラス被害対策について</p>
<p><b>⑧ 田中 義乃 (新政会)</b></p> <p>1 観光について 2 養浩館庭園について 3 空き家対策について</p>

<p><b>⑨ 玉村 正人 (市民クラブ)</b></p> <p>1 教員の長時間勤務の是正について 2 学校部活動の地域移行について 3 学校規模適正化について 4 小・中学校でのICT利活用について</p>
<p><b>⑩ 鈴木 正樹 (日本共産党)</b></p> <p>1 東公園におけるアリーナ構想について 2 新型コロナ対策と中小零細企業支援について 3 国民健康保険税の子どもの均等割の廃止や減免について 4 ロシアのウクライナ侵略と日本の安全保障について</p>
<p><b>⑪ 泉 和弥 (新政会)</b></p> <p>1 住み続けられるまちづくりについて</p>
<p><b>⑫ 酒井 良樹 (市民クラブ)</b></p> <p>1 生活介護サービスについて 2 子育て支援について 3 コロナ対策における子どもへの影響について 4 福井市DX推進計画実施計画について</p>
<p><b>⑬ 片矢 修一 (市民クラブ)</b></p> <p>1 災害に強い、安心・安全のまちづくりについて</p>
<p><b>⑭ 伊藤 洋一 (新政会)</b></p> <p>1 本市における送金などの手続について 2 中央公園子ども遊び場整備事業について</p>
<p><b>⑮ 菅生 敬一 (公明党)</b></p> <p>1 メガソーラー発電所について 2 新型コロナ対策について 3 男性個室トイレへのごみ箱の設置について 4 横断歩道での歩行者の安全な横断について</p>
<p><b>⑯ 近藤 實 (無所属)</b></p> <p>1 アリーナ構想について 2 脱炭素先行地域について 3 子宮頸がんワクチンの案内、接種などについて 4 令和3年度一般会計の実質収支などについて 5 ふるさと納税について 6 海外誘客とパリ駐在員について 7 福井市のホームページについて 8 雨水比率0.239について 9 27,500万円の返還額はなぜ営業収支なのかについて 10 専決処分(令和3年度一般会計補正予算)は妥当かについて</p>

<p><b>⑰ 今村 辰和 (一真会)</b></p> <p>1 国道158号の工事進捗状況について 2 令和3年度の除雪状況と令和4年度の補助事業について 3 美山地区の簡易水道事業について 4 スロベニア共和国との交流について</p>
<p><b>⑱ 奥島 光晴 (新政会)</b></p> <p>1 本県、本市へのU・Iターンについて 2 小・中学校の給食費値上げについて 3 通知表廃止論の一考察について</p>
<p><b>⑲ 津田 かおり (公明党)</b></p> <p>1 生活者目線の物価高対策について 2 ヤングケアラーへの支援について 3 带状疱疹ワクチン接種の助成について 4 自殺予防対策について</p>
<p><b>⑳ 岩佐 武彦 (一真会)</b></p> <p>1 障がい者の雇用促進について 2 大規模災害時の対応について 3 防犯カメラの設置について</p>
<p><b>㉑ 神原 光賀 (一真会)</b></p> <p>1 ふくいMa a Sについて 2 学校DX推進事業について</p>
<p><b>㉒ 山田 文葉 (日本共産党)</b></p> <p>1 保育の問題について 2 加齢性難聴者への支援について 3 健康づくりの取組について 4 原子力発電と省エネルギー対策について</p>
<p><b>㉓ 中村 綾菜 (無所属)</b></p> <p>1 プラスチックごみと海洋プラスチックごみの再資源化について 2 サステナブルツーリズム(持続可能な観光)について 3 重度障がい並びに精神障がい福祉サービスの拡充について 4 性的マイノリティーへの理解促進について</p>

社会的ニーズの変化に的確に対応するとともに、市民が納税しやすい環境の整備や収納事務の改善の方向性を定めるため、福井市納税推進懇話会を今年7月に立ち上げる。この懇話会では、市民代表や地方財政、地方税の実務など、各分野に精通する有識者の方々から、納税者の目線に立った意見や提案をいただくとともに、包括外部監査の意見も併せて議論を行う予定である。納税組合については、その意見や議論を参考にしながら、廃止を含めた制度の在り方について、今年度中に方向性を定めていく。

**回答**

納税組合については、納税手段の多様化が進んだことや、市全体の収納率が上がったことで存在意義が薄れてきたこと、また、公平性の欠如や個人情報漏洩の懸念などがあることから、包括外部監査において、廃止を検討すべきとの意見が出されている。今後、本市では制度の存廃について、どのように検討するのか。

**質問**

市税収入の確保について



寺島 恭也 議員  
一真会

一般質問要旨



小・中学校のDX推進について

質問

学校DX推進事業では、教育サーバー等ネットワークインフラの更新、強化を行うとともに、中学校1年生を対象にAI教材の試験的導入を行うとのことだが、どのような内容か。また、どのようなことが期待でき、将来的にどのように進めていく考えか。

回答

AI教材の試験的導入においては、3つのことについて検証する。まず1つ目として、AIが生徒の習熟度や理解度を判断し、一人一人に合わせて学習を進めることにより、生徒のつまづきを補うなどの学力向上についての検証。2つ目に、教員に代わってAIが自動的に採点し、習熟度の理解度、学習結果や家庭での学習状況などが一目で把握できることによる教員の負担軽減や働き方改革についての検証。3つ目に、プリント等の教材を一部AI教材に置き換えることによる保護者の費用負担の軽減についての検証。これらを2年間にわたって行い、その結果を基に令和6年度の本格実施につなげたいと考えている。



福井市中央卸売市場について

質問

本市場は昭和49年11月の開設以来50年が経過としており、将来的には人口減少や通信販売の増加などにより、市場を取りまく環境はますます厳しくなることが予想されるが、開設者である市長はどのような考えを持っているのか。

回答

福井市中央卸売市場経営戦略を令和3年3月に策定し、魅力的な市場と機能的な市場の2つの柱を掲げ、各種取組を進めている。一般の方が入場できるふくい鮮いちばの開放や、県内の漁港から当日水揚げされた魚介類を即時に運送し、競りにかける近海今朝とれ市、さらに、施設の長寿命化や設備の更新により、円滑な市場運営を確保するなど、多岐にわたる取組を進めている。

本市場は、福井市を中心とした広域的な生鮮食品等の中核的な物流拠点として大きな役割を担う重要な施設であると考えており、生産者に確実な販路を提供し、消費者にはその需要に応じた安全安心、安定的な供給が継続できるように努めていく。



ラウンドワンと共同住宅どちらがにぎわいを創出できるか

質問

都市計画マスタープランで定める広域商業業務ゾーンにおいて、にぎわいの核となる商業施設、ラウンドワンが計画され、同時に共同住宅計画が持ち上がった場合、行政がその土地利用をコントロールし、規制や誘導ができるのではないかと。

また、判断基準はにぎわいの創出であり、そこにつながるのとはどちらだと考えるか。

回答

都市計画マスタープランや立地適正化計画における中心市街地の土地利用や暮らしのイメージとしては、行政サービス施設や商業施設などの広域的な都市機能施設が集積し、公共交通の結節機能を生かした高次都市機能が集積する地区、また中高層の共同住宅や戸建て住宅で徒歩や自転車、公共交通を利用した生活としており、提案のあった商業施設または共同住宅のいずれも中心市街地に必要な施設であると考えている。

様々なハード事業やソフト事業を行いつつ、まちのにぎわいをつくっていき、それに民間の方々も投資できるように、さらに効果が発揮できるように協議していきたい。



福井市国土強靱化地域計画について

質問

福井市国土強靱化地域計画の改訂に当たつての基本的な考え方について、市長の見解を伺う。

回答

福井市国土強靱化地域計画では、計画期間を概ね5年としていること、また本計画と整合が求められる県の国土強靱化地域計画も、令和4年度末までに改訂予定であること踏まえ、本年度、改訂に取り組みものである。

改訂に当たっては、学識経験者や関係機関、団体など、民間委員により構成する検討委員会を設置し、意見や助言をもらいながら検討を進めていく。

また、改訂に当たつての基本的な考え方として、現行計画に基づく取組の進捗や、近年の災害状況、国や県の動向等を踏まえて検討を行っている。



マイナポイント手続支援窓口の拡大について

質問

マイナポイント第2弾が実施され、令和4年6月30日からポイントが上乗せされる。ポイント付与の手続が分からない方のために、手続支援窓口を市役所やショッピングセンター以外に公民館などにも拡大してはどうかと考えるが、今後の取組について伺う。

回答

公民館におけるマイナポイントの手続については、令和2年10月から令和4年3月末までの間、全公民館で窓口を開設し、マイナポイントに関する相談や申請をサポートしてきた。引き続き、公民館や自治会などからの依頼に応じて出張申請受付窓口を開設し、多くの市民に利用してもらえるよう努めていく。

また、今年度はスポーツ少年団の活動場所や高校で出張申請受付を行い、交付率の低い若年層への普及啓発に努めていくことが必要であると考えている。



みながわ のぶまさ  
**皆川 信正** 議員  
一真会

**アリーナ構想と新文化会館について**

**質問**

県、市、福井商工会議所の三者が県都にぎわい創生協議会でアリーナ構想を東公園（豊島町）に建設することについて、知事、市長は合意したと報道されている。本市の新文化会館と似た施設であるが、両立できるのか。また、議会への説明が極めて遅い。反省を求める。

**回答**

アリーナ構想に関しては、本市議会に対し唐突な説明となったことについて、十分に反省をしている。今後はより密に進捗状況等を説明していきたいと考えている。

アリーナを文化会館とは別物にするのか、もしくは文化施設としても使えるようにするのか、まだ決定してはいない。どのような形で文化会館と整合性を取っていくのか、まだまだ課題があり、東公園の付近の住民への説明などこれから整理が必要な部分があることは理解している。



たなか よしのり  
**田中 義乃** 議員  
新政会

**養浩館庭園について**

**質問**

来年度、開園30周年を迎える養浩館庭園、北陸新幹線福井駅開業や大阪延伸に向け、福井駅から福井城址、養浩館庭園への回廊の形成となる整備、また来場者に対するおもてなし向上の施策について、今後の方針を伺う。

**回答**

本市では、令和3年度末までにJR福井駅と福井城址、中央公園、順化小学校周辺、及び養浩館庭園周辺の道路について、落ち着いた色調の舗装整備や、歩行空間の拡幅及び景観に配慮した色調の電柱への変更などを行ってきた。今年度は、県庁北側出口からさくら通りを結ぶ、市道中央1-361号線の整備を行う予定である。

さらに、来年度以降は、福井城址北側の御本丸緑地の未整備区間や、お堀の東側の市道中央1-359号線についても整備を行う予定である。

今後も引き続き、福井城址周辺から養浩館庭園へと回遊性を向上させ、訪れる人とつってゆっくりと散策ができる居心地のよい歩行空間の整備を進めていく。



たまわら まさと  
**玉村 正人** 議員  
市民クラブ

**学校部活動の地域移行について**

**質問**

学校部活動の地域移行についての見解は。また、学校運動部活動の地域移行に係る研究の取組は、いつ頃から、どのように計画しているのか。

**回答**

部活動の教育的効果は大きく、また教育的機能を維持することは大切なことであると認識している。また、生徒の負担軽減や教員の働き方改革についても検討する必要があると感じていることから、地域移行については慎重に研究していきたいと考えている。

また、研究の取組については、7月中旬をめどに中学校長会や中学校体育連盟、PTAの代表等を委員とする「研究評価委員会」を設立し、本格的に研究をスタートさせた」と考えている。委員会では、モデルとする地域や部活動、学校の選定後、生徒をはじめ保護者、学校、スポーツ団体等へのアンケートや課題の洗い出しを行い、そこから見える課題解決の方策や地域移行の進め方を研究していくことを計画している。



すずき しゅうじゅ  
**鈴木 正樹** 議員  
日本共産党

**アリーナ構想に過大な税金投入はやめよ**

**質問**

東公園に建設することで議論が進められているアリーナ構想は、民設民営であるならば、税金支出は八戸市（総工費36億円）に税金投入32億円）のような手法ではなく、仙台市（固定資産税5年分の補助のみ）のような手法であるべきだが、市長はどう考えるか。

**回答**

アリーナの基本構想については、福井商工会議所が中心となり、施設整備や運営手法について検討を重ねている。今後、アリーナの基本構想が策定された際には、整備・運営手法や資金調達方法について精査を行い、他市の事例を参考としながら、県と連携して必要な支援を検討していきたいと考えている。

また、現在は資材が調達しにくく、アリーナがどの程度の規模になるかもはっきりしていない状況であることから、どのように対応していくかは、もう少し情勢を見極めた上で判断する必要があると考える。



いずみ かずや  
**泉 和弥** 議員  
新政会

**新たな県営産業団地の整備について**

**質問**

県は、新たな県営産業団地の整備について4月から5月にかけて県内市町とのヒアリングを行い、公募条件を決定するとしていた。以前から産業用地の確保が課題となっていた本市は、県にどのような考え方を伝え、また今後はどのように取り組んでいくのか。

**回答**

本市では、福井市企業立地戦略において、交通網の整備により関西・中京への複数経路が確立されるといった本市の地理的優位性を生かし、物流関連産業を中心として立地に取り組むこととしている。

そのような中、県は高速道路インターチェンジや新幹線駅の周辺等に産業団地を整備していく方針を示した。

県からは公募方式により市町を選定し、1〜2か所程度を整備するといった基本的な考え方の説明を受け、スケジューリングや市町の負担等について意見交換を行ってきたところである。

公募条件はまだ示されていないが、本市の課題を踏まえ、条件が示され次第対応できるように、検討を進めていく。



さかい よしき  
**酒井 良樹** 議員  
市民クラブ

子育て支援について

質問

他自治体では、子どもの医療費、給食費、保育料、遊び場、おもちゃを所得制限なしで無料化し、子育てに係る経済的な負担の軽減を図っていることから、子育て世帯の評価が高く移住も増加している。本市においても同様の取組を検討してはどうか。

回答

本市では、保育料や医療費の支援に加え、親子の交流の場づくりや児童の見守り支援を実施している。親子の交流の場については、地域子育て支援センターにおいて、子育ての悩み相談や遊びながら交流する場を提供している。児童の見守りについては、ひとり親世帯や困窮世帯の児童を支援し見守る目的で学習支援教室を実施しているほか、民間団体が実施する食事の提供や学習支援に対し補助している。

今後これらの事業を継続しつつ、おもちゃの無料配布等の新しい取組についても研究していく。



かたや しゅういち  
**片矢 修一** 議員  
市民クラブ

災害に強い、安心・安全なまちづくりについて

質問

災害時に、避難行動要支援者を、一人でも多く、地域の助け合いでどう守るのが重要な課題だが、福井市避難支援プランの作成が進んでいない。この作成数を増やす方策は。

回答

今年度はまず市内4地区において、避難行動要支援者の心身の状況や生活実態を把握している避難支援等関係者と連携したワークショップを開催し、優先度の高い避難行動要支援者の福井市避難支援プラン、いわゆる個別避難計画の作成を進めていく。

さらに、避難支援等関係者に対し、出前講座など様々な機会を通じて、個別避難計画の必要性について周知していく。また、障がい福祉課や介護保険課などの窓口において、本制度の趣旨を説明するほか、郵送で制度の周知を行っている。

今後、これらの取組を通じて個別避難計画の作成を推進し、地域での支援体制の充実を図っていく。



いとう よういち  
**伊藤 洋一** 議員  
新政会

中央公園子どもの遊び場整備事業について

質問

中央公園子どもの遊び場整備事業の主な構想は、アクセスや、駐車スペース確保への配慮は。また、県都デザイン戦略の面など、広く全体を生かすためのアプローチも一緒に検討すべきと考えるが、所見は。

回答

整備場所は旧順化公民館跡地で、約300㎡屋根つき遊具の整備を想定している。詳細については、子育て中の若手職員などのアイデア等も盛り込みながら、今年度中に策定する実施設計の中で具体的に示していく。

中央公園へは、鉄道やバスなど多様な交通手段で来園していたことが可能である。また、周辺には多くの駐車場が立地しており、新たな整備が考えられていない。

中央公園の周辺は、県都デザイン戦略に基づき、駅からの動線や歩きやすい環境づくりを進めてきた。屋根つき遊具広場を整備することで、遊び場を目的とした来訪者を増加させ、近隣施設と連携すること、また、まちなかの回遊性の向上に寄与するものと考えている。



すごう けいいち  
**菅生 敬一** 議員  
公明党

子どものマスク着用の考え方について

質問

厚生労働省は、これから夏に向かうに当たって、屋外で人と十分な距離が保てる場合はマスクを外すことを推奨している。特に子どもは熱中症のリスクが心配だ。学校生活の様々な場面でのマスク着用の是非について、文書にして生徒と保護者に通知すべきではないか。

回答

文部科学省から6月10日付で、夏季におけるマスク着用の考え方について通知が出された。これを受け、市としても各学校に対して指導するよう通知した。また、保護者に対しては、熱中症対策に伴うマスクの対応についてメール等で周知した。

現段階では、それ以外の場面ごとにおけるマスク着用の考え方について明確な対応は難しく、改めて文書配布までは考えていないが、引き続き新型コロナウイルス感染症の学校生活における基本的な感染対策を徹底した上で、場面や状況に応じた個別での対応を行うよう指導していく。



こんどう みのる  
**近藤 實** 議員  
無所属

福井市のホームページについて

質問

だいぶ前から今のトップページだと思いが、思い切った新しいデザインにして、斬新でカラフルな、福井に行きたいと感じるものにしていただきたい。また、死んでいくページは削除し、全体的に検索しやすいよう、統一的な表示名など十分な配慮をお願いしたいが、所見を伺う。

回答

本市では、必要な情報を速やかに得られるよう、トップページ上部を6つのメニューに大きく分けて表示し、そこから目的のページまで簡単にたどり着けるようにしている。しかしながら、現在のホームページは平成26年2月のリニューアルから8年がたち、デザイン面でのインパクトが薄れているのも事実である。また、クリックしても到達できないリンク切れについては定期的な全所属で確認しているが、漏れなく対応することが難しくなっている。

今後は、利用者にとって見やすい・分かりやすい・たどり着きやすいホームページとなるよう、リニューアルについて検討を進めていく。



国道158号の工事進捗状況について

質問

国道158号は大野市と福井市を結ぶ重要な路線である。現在、約5kmの未開通区間が残っており、一車線であるため、一旦事故等が発生すると人流や物流がすべて止まることになる。今後の工事計画と、完成年度はいつ頃なのかを伺う。

回答

本路線の境寺町から計石町までの区間については、平成24年度から県がバイパス整備を進めている。事業期間は令和10年度までを予定しており、事業区間約5,300mについて、幅員9.5mの2車線道路を整備するものである。

県からは、今年度は用地買収、道路築造工事、河川付け替え工事を行う予定であると同っている。

県は、バイパス整備の完成について、今後の用地交渉やトンネル掘削中における地質状況の変化など、不確定要素はあるものの、令和10年度の完成に向け、残る用地の取得を進めるとともに整備の推進に鋭意努力することである。



小・中学校の給食費の値上げについて

質問

6月補正予算で、学校給食材料費高騰対策事業として、2,000万円が計上されているが、子どもたちの給食の充実はもちろん、保護者にとっても納入業者にとっても有益な三方良しの予算執行をしてほしい。

回答

給食の材料は、献立に応じて種類や量を一旦決めた上で、納入業者に見積りを依頼する。その価格を見ながら材料の調整をしていくが、価格高騰の幅によっては、より安い材料に置き換えることもある。これに伴い、納入業者にも内容の変更をお願いせざるを得ないことがあるなど苦慮しながら献立を決めている。

今回の補正予算は、給食費を増額するものであり、これまで価格の面で使用を控えていた材料を取り入れることが可能となる。納入業者から仕入れる材料の種類や量も増え、地場産の食材を取り入れる機会も増やすことができ、相乗的に地域の経済発展につながるものと期待している。



生活者目線の物価高対策

質問

物価高騰から市民生活を守るため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を積極的に活用した生活困窮者等への支援が必要である。物価高のあたりを受けけるのは市民全体であり、水道の基本料金を一定期間無料にすることで水道料金を減額し、市民生活と経済活動を支援していただきたいが、本市の見解は。

回答

水道の基本料金を一定期間減額することについては、民営簡易水道や井戸水を使用し、上水道を使用していない場合があること、また、集合住宅によっては入居者と企業局が直接給水契約をしていない場合があることなどにより、公平に支援できないことが課題となる。

今後は、社会情勢を見極めるとともに、市全体の取組の中で慎重に検討したいと考えている。



障がい者の雇用促進について

質問

障がい者の職業の安定を図った、いわゆる障害者雇用促進法により、企業には一定の障がい者雇用が義務づけられている。民間企業の障がい者雇用の促進策として、本市ではどのような取組をしているのか。

回答

本市では、中小企業雇用促進相談員が企業を訪問し、事業主に対して障がい者雇用に関する助成制度等の周知広報に努めている。また、障がい者雇用の継続と定着を目的に、国の特定求職者雇用開発助成金の支給期間満了後に引き続き1年以上雇用を継続した場合に、雇用奨励金を交付している。

障がい者本人に対しては、自己分析や模擬面接等を行い、自らが求職活動を行えるようするためのセミナーを実施し、ハローワークが主催する面接会への参加を促している。さらに、障がい福祉課内に雇用調整員2人を配置し、本人のニーズや特性に応じた就労支援を行うとともに、就労が継続できるよう定期的なフォローも行っている。



学校DX推進事業について

質問

令和4年度6月補正予算で、中学生を対象にA1教材を試験的に導入し、令和6年度に本格導入を検討していくとある。導入を検討した背景とどのような効果を期待しているのか。本市の所見を伺う。

回答

この度、本市が内閣府のデジタル田園都市国家構想事業に採択されたことにより、ネットワークやセキュリティが強化され、既に導入しているタブレットの多方面での活用が可能になる。A1教材を導入することにより、生徒の習熟度や理解度に合わせた学習を進め、子どもたちの学びの充実を図ることや、子どもが自主的に学ぶツールとしてタブレットを活用し、課題を持って学習に取り組む「個別最適化された学習」につなげていきたい。また、学習状況の分析が容易になることなどの効率化による教師の働き方改革や、紙媒体の教材を一部A1教材に置き換えることにより、保護者負担の軽減にもつながることを期待している。



やまだ ふみは

**山田 文葉** 議員

日本共産党

**高齢者の補聴器購入に助成を**

**質問**

耳の聞こえが悪くなると会話が楽しめないだけでなく、うつ病や認知症につながる指摘されている。補聴器は、難聴が進行してからではなく、なるべく早く使用するべきと言われているが、購入費が高いうえに50を超える自治体で既に行われている高齢者の補聴器購入費への助成を本市も行うべきかと考えるが、市の見解は。

**回答**

本市が単独で補助制度を導入することについては、国による統一的な基準がないことから、慎重に判断すべきである。

現在、国は、高齢者の補聴器使用による認知機能への影響を解明するため、補聴器の効果を検証する研究を行っている。これにより、国において補聴器の使用に関して、何らかの方針が示されるものと捉えている。

今後、国の研究の進捗や成果等を注視しながら、国への要望等について検討していきたいと考えている。



なかむら あやな

**中村 綾菜** 議員

無所属

**重度障がい者福祉サービスの充実を**

**質問**

障がいの重い方向けのグループホームが少ないという現状をどう考えるか。また、今後グループホームを計画する事業者への支援として、市はどのようなことができるか、本市の所見を伺う。

**回答**

本市には、主に重度障がい者を受け入れるための体制を整えているグループホームは5事業所ある。現在、重度障がい者がグループホームへ入居できないといった相談は聞いていないが、今後、入院や施設に入所されている方などの地域移行に伴い、需要が高まっていくものと考えている。

事業者への支援については、令和3年度の障害福祉サービス等報酬改定により加算制度が拡充されていることや、障がい者福祉サービスが市をまたいだ広域的なサービスであるとの観点から、本市独自の制度を創設する考えはない。国に対しては引き続き加算拡充を要望していく。

本市としては、地域生活支援拠点事業における取組として、事業所で働く専門人材を多く育成することに取り組んでいくと考えている。

**(5月臨時会) 議案等の審議結果**

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第27号議案	監査委員の選任について	5月17日 同意	
第28号議案	監査委員の選任について	// //	
第1号報告	専決処分の承認を求めることについて (福井市市税賦課徴収条例の一部改正)	// 承認	
第2号報告	専決処分の承認を求めることについて (福井市市税賦課徴収条例の一部改正)	// //	●
第3号報告	専決処分の承認を求めることについて (令和3年度福井市一般会計補正予算)	// //	●
第4号報告	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度福井市一般会計補正予算)	// //	
第5号報告	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度福井市一般会計補正予算)	// //	
第6号報告	弾力条項適用の報告について (令和3年度福井市競輪特別会計)	// 受理	
第7号報告	専決処分の報告について (和解及び損害賠償額の決定について)	// //	
第8号報告	専決処分の報告について (工事請負契約の変更について)	// //	
第9号報告	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度福井市一般会計補正予算)	// 承認	

**(6月定例会) 議案等の審議結果**

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第29号議案	令和4年度福井市一般会計補正予算	6月23日 原案可決	
第30号議案	令和4年度福井市介護保険特別会計補正予算	// //	
第31号議案	福井市市税賦課徴収条例等の一部改正について	// //	
第32号議案	福井市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	// //	
第33号議案	福井市民生委員定数条例の一部改正について	// //	
第34号議案	福井市介護保険条例の一部改正について	// //	
第35号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	// //	
第36号議案	福井市営特定公共賃貸住宅管理条例等の一部改正について	// //	
第37号議案	財産の取得について (除雪ドーザ)	// //	
第38号議案	土地の取得について (新中学校建設用地)	// //	

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第10号報告	専決処分の承認を求めることについて(和解及び損害賠償額の決定について)	6月23日	承認	
第11号報告	令和3年度福井市一般会計継続費の繰越しに関する報告について	6月6日	受理	
第12号報告	令和3年度福井市一般会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	//	//	
第13号報告	令和3年度福井市一般会計事故繰越しの繰越しに関する報告について	//	//	
第14号報告	令和3年度福井市中央卸売市場特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	//	//	
第15号報告	令和3年度福井市水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	//	//	
第16号報告	令和3年度福井市簡易水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	//	//	
第17号報告	令和3年度福井市下水道事業会計継続費の繰越しに関する報告について	//	//	
第18号報告	令和3年度福井市下水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	//	//	
第19号報告	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	//	//	
第20号報告	福井市土地開発公社の令和3年度決算に関する報告について	//	//	
第21号報告	福井市土地開発公社の令和4年度予算に関する報告について	//	//	
第22号報告	一般財団法人福井市漁業振興会の令和3年度決算に関する報告について	//	//	
第23号報告	一般財団法人福井市漁業振興会の令和4年度事業計画等に関する報告について	//	//	

(6月定例会)		請願・陳情の審議結果			賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
請願・陳情番号	件名	審議結果			
請願第11号	インボイス(適格請求書)制度の中止を求める請願	6月23日	不採択	●	
請願第12号	「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める請願	//	//	●	
請願第13号	保育所等の最低基準(職員配置・設備の面積基準)と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める請願	//	//	●	
陳情第12号	原子力発電所の重大事故時に住民の避難が困難であるため、老朽原発の運転の停止を求める陳情	//	//	●	
陳情第13号	「すべてのケア労働者の大幅賃上げを求める意見書」の提出を求める陳情	//	//	●	

## 賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対

※原則議長(堀江廣海)は採決に加わりません。

会派名 議員名	審議 結果	一真会											新政会						市民クラブ			公明党		日本 共産党	無所属											
		皆川 信正	見谷 喜代三	青木 幹雄	今村 辰和	堀江 廣海	八田 一以	福野 大輔	池上 優徳	水島 秀晃	寺島 恭也	榎原 光賀	岩佐 武彦	加藤 貞信	石丸 浜夫	野嶋 祐記	奥島 光晴	田中 義乃	藤田 諭	泉 和弥	伊藤 洋一	堀川 秀樹	玉村 正人	片矢 修一	村田 耕一	酒井 良樹	下畑 健二	菅生 敬一	津田 かおり	鈴木 正樹	山田 文葉	中村 綾菜	近藤 實			
<b>5月臨時会</b>																																				
第2号報告	承認	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
第3号報告	承認	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	
<b>6月定例会</b>																																				
請願第11号	不採択	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
請願第12号	不採択	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
請願第13号	不採択	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
陳情第12号	不採択	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
陳情第13号	不採択	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

### 議長の動静(令和4年4月～6月)

4月19日	令和4年度中核市議会議長会第1回総会(書面議決)
21日	北信越市議会議長会評議員会(金沢市) 北信越市議会議長会第97回定期総会(金沢市)
5月9日	福井市北陸新幹線建設促進連絡協議会理事会 福井市北陸新幹線建設促進連絡協議会総会
24日	福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会・大会(東京都) 全国市議会議長会理事会(東京都) 中核市議会議長会要望活動(東京都)
25日	全国市議会議長会定期総会(東京都)
26日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合 臨時会(あわら市) 全国競輪主催地議会議長会近畿部会総会
6月1日	第130回全国競輪主催地議会議長会定期総会(東京都)

### 5月臨時会

5月17日	議会運営委員会、議員全員協議会、本会議
-------	---------------------

### 6月定例会

6月6日	本会議
7日	議会運営委員会
13日	本会議(一般質問)
14日	本会議(一般質問)
15日	本会議(一般質問)
16日	総務委員会、建設委員会
17日	教育民生委員会、経済企業委員会
21日	議会運営委員会
23日	本会議

### 臨時会・定例会外の議会日程(令和4年4月～6月)

5月2日	議会運営委員会
11日	財政再建下での持続的市勢発展対策特別委員会
30日	議員全員協議会、議会運営委員会

### 編集後記

今号より、岩佐委員長、津田副委員長のもと一新されました委員構成で市議会だよりをお届けすることになりました。コロナ禍の中、様々な行動が制限されておりましたが、総合防災訓練や市議会の委員会視察が実施されるなど、少しずつ緩和されております。今年度は、定例会等の審議結果のみならず、様々な議会活動についての話題を提供できれば幸いに思います。ご期待ください。(寺島)

福井市議会  
だより  
編集委員

委員長 岩佐 武彦 副委員長 津田 かおり  
委員 野嶋 祐記、玉村 正人、片矢 修一、藤田 諭、寺島 恭也、山田 文葉

一般質問の録画映像を各議員ごとにスマートフォンやタブレット端末で見ることができます。

一般質問ページにおいて、各議員の顔写真欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレット端末から読み取ると、その議員の一般質問の動画が視聴できます。



### 請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

### 傍聴してみませんか

#### 傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

#### 傍聴をご希望される方へ

- ・感染状況によっては、傍聴数の制限をさせていただく場合があります。あらかじめホームページをご確認いただくか、下記までお問い合わせください。
- ・議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。

本会議

定員97人 うち車イス6席

常任委員会

総務、建設、教育民生、経済企業

議会運営委員会

特別委員会

福井の魅力発信対策、予算

議員全員協議会

今回は  
9月定例会  
です

日程は  
ホームページに  
掲載します

福井市議会 日程

検索

市議会HPは  
こちらから



お問い合わせ 議会事務局 庶務課

0776-20-5506